

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年6月15日 (水) NO 201

地域から明るい未来を作ろう

社会に貢献するため 企業が存在する

事業の目的は、事業を通じて社会や人に貢献すること、単なる金儲けや利益を追求するだけではないはず。真剣に顧客に顔を向けていない企業が最近地方でもマスコミを騒がし、全国的に話題になりました。

安ければいい。美味ければいい。その為リスクを他人任せにし、商品を受け入れていたことです。それが本当に「良い商品」でしょうか。自らの利益を最優先？にして、顧客と社員に本当の責任を果たしたことはありません。最悪の結果を自らが招くのです。法律に明示されていないのは、商人の責任回避をすることで納得できないものです。結果がすべてです。法律以前の企業倫理、トップの問題ではないでしょうか。我が国の危機管理は、お粗末の一言です。どうしてなんでしょう。日本を代表する大企業も想定外を語っているほどです。どこからか、人の心が完全に病んだのではないかと思

います。これは日本人の劣化現象です。私たちは、これから何処へ向かうとしていくのでしよう。



ソフトバンクやマイクロにみる大手などの成功、桁外れた結果。これは会社が丸となった、桁外れの努力の結果なのです。常にトップは他の追随を許さない超人的な努力をしているものです。そして最後まで詰めきり、更に高みを目指し、不可能に近い目標を立てる。これは単なる欲望とは言い切れ

好きになる

未来をつなぐ若者に渡せるのでしょうか。

好きなものを、見る。食べる。触れる。聞く。嗅ぐ。他に人は見えないものを見、聞こえないものを感じる事ができる。

「理性は感情の奴隷である」とある。感情が、前向きで積極的な理性を引き出す。情を感じれば最高に幸せなものです。

私たちは素直にもっと豊かな感情を取り戻しましょう。

対象が何であれ、何かを本当に好きになれば、心と体が活性化し、一瞬で元気になるものです。誰かの役に立つこと、人の役に立つことが結果的に、自分のための癒しになる。明るく物事を否定的でなく肯定的に、積極的にとらえる人が豊かな感情を持つ人なのです。愛とは無償の行為です。

感情を大切に、感動や悔しい気持ちを大切に、そして自分に対する報酬(褒美・ほうび)と幸せを・・・

人の使命に近いものと思われる。

怒りに似た思いが内に燃えているのだと思う。何度となく絶望の淵に立ちながら、決して諦め

蹟を呼び込んでいる。

おしなべて、これらの企業は、最前線の地元の店舗で見ても、仲間意識が強いと感ずます。常に

人は世界を目指す

にトップを含めた、コミュニケーション力が高いのだと感ずます。

ない。最高を目指しているのです。

一ミリの可能性にも、「もうダメ」と思っても更に踏み込み、全

知能、全精力を注ぐ。それが奇

相手を思いやる気持ち、人間性、「心」の姿勢が組織の中核だと思ふのです。さらに優秀な人程、性格が良く